



国際ロータリー第2790地区

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH



千葉南ロータリークラブ会報

(創立)1964年3月2日

(例会日)毎・金曜日12時30分

(例会場)オークラ千葉ホテル

(会長)齋藤 昌雄

(幹事)植松 省自

(会報委員長) 永安 重治

(事務局) 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

第2416回

平成25年8月23日(金) 点鐘12:30 <晴れ>

◇ロータリーソング『それでこそロータリー』

◇四つのテスト ~言行はこれに照らしてから~

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

◆お客様紹介

- ・国際ロータリー第2790地区 ガバナー 関口徳雄様
- ・ " 第3分区Bガバナー補佐 石井七郎様
- ・千葉RC / 関根洋一様
- ・千葉西RC / 宮間大輔様

◆会長挨拶及び報告 齋藤 昌雄会長

本日は、ガバナー公式訪問ということで、なんとなく会場の雰囲気も緊張感があふれているように思います。

毎日、暑い日が続いておりますが、我々の業界も暑さと湿度は大変な大敵で、ホルスタイン・乳牛ですが、約200頭が千葉県内では死んでしまっています。

生産した原乳は、シーエスという大きな基地に一度集めて、20トンのコンテナで各乳業メーカーに運ぶのですが、出発するときは4度なのですが、今年は高速道路が非常に混んでいて、メーカーに着くときには8度でないといけないのですが、これを1度でも超えると日本の場合には非常に厳しくて廃棄処分になります。そのようなことで、日本の牛乳は安全ですので、安心して飲んでいただきたいと思います。また、牛乳は熱射病にも良いということで、今年は消費量も落ちていません。我々にとっては大変嬉しいという状況です。

本題に戻させていただきます、関口ガバナーの基本方針については、事前のガバナー補佐訪問で、石井ガバナー補佐から非常に分かりやすく、事前にお話しただいております。

今年度の方針について、みなさん、「えっ?」と感じら

れた方も多かったと思います。

これまでのガバナーの方は、まず、ロータリーの職業奉仕について、熱心に語られるということが続いていたのですが、現状は、千葉南クラブもそうですが、非常に会員数が減ってきており、クラブ運営に支障が出て、クラブの活気がなくなってきており、それが会員増強を難しくしているように思います。そんな現状の中で、関口ガバナーが、まず、親睦、そして、奉仕、元気あるクラブ運営をというお話をされましたので、創立50周年を迎える我がクラブとしても、ガバナーの基本方針に沿った形で進めていけるのではないかと考えております。

3年前から、50周年記念事業を進めてきておりますが、会員増強がまだ達成されておられません。これについても北原委員長の下、特別チームを編成し、基本的な案は、北原委員長に作って頂いております。来年の4月4日の記念式典の時には、ぜひ、50人の目標を達成して、元気ある千葉南ロータリークラブとして、関口ガバナーと石井ガバナー補佐をお迎えしたいと思います。

◆委員会報告

会員増強委員会より (北原俊彦委員長)

50周年を50名で迎えよう、そして、記念事業の一環として、桜の植樹ということで、今年の2月に28本を植えました。その後、50周年なのだから、50本の植樹をしようという声が上がってきております。今、28本植樹が終わっておりますので、来年の4月4日までに県で造成中の水の里公園に残りを植えようということで、皆さん、よろしく願いいたします。

報告ですが、8月9日に京葉プラザにて、第2790地区クラブ奉仕セミナーが開催されました。私と永安会員が、会員増強と広報ということで、出席して参りました。

会員増強につきましては、9月から本格的に突入したいと思います。宜しくお願いします。

◆幹事報告 植松 省自幹事

・例会終了後、クラブ協議会を行いますので、皆様のご参加、宜しくお願い致します。

・習志野RCから、50周年のご案内がきております。

日時⇒ 平成25年11月29日(金)

会場⇒ ホテルニューオータニ幕張

登録料⇒ 10,000円

※参加ご希望の方は、事務局までお申込み下さい。

・金親さんの里山に関する新聞記事をお配りしております。ご一読ください。

◆ニコニコボックス報告

《ガバナー関口 徳雄様より、ニコニコを頂戴しました》
《第3分区Bガバナー補佐 石井 七郎様》

本日は、ガバナーの公式訪問です。何卒宜しく願い致します。

《斎藤 昌雄会長・植松 省自幹事》

国際ロータリー第2790地区ガバナー・関口 徳雄様、第3分区Bガバナー補佐・石井 七郎様、本日は宜しくご指導の程、お願い申し上げます。

《金親 博榮会員》

地球の環境から身の回りの生物まで、里山の自然に支えられている中で、千葉県内の活動が朝日新聞と千葉日報に掲載されました。“国際里山の集い”も11回を重ね、その底辺を支えるものと思っています。

《向後 保雄会員》

本日は関口ガバナーにお越しいただいており、大変有難く、楽しみです。

フィリピンのケソン市に消防自動車を寄贈するための船代を賄うため、皆様からのご寄附をお願いする予定です。宜しくお願い致します。

なに豊かな人生を」というものです。

更に、この意味を以下のように申しております。ロータリーの奉仕では、努力すればするほど多くを得ることができ、ロータリーを真に実践し、ロータリーの奉仕と価値観を日々活かす決意をすれば、自分がいかに素晴らしい影響をもたらすことができるか分かるはずです。そうすることによって、初めて人々の人生を真に豊かにしようというやる気・パワーが湧いてくるのです。そして何よりもあなた、つまりロータリアン自身の人生が豊かになるはずです。

このフレーズは、アーサーシェルドンの説いた「He (One) profits most who serves Best」つまり、奉仕の理念の第二標語に通ずるものとして、私は勝手に解釈しまして地区チームセミナーで申し上げたのですが、後に6月の広島平和フォーラムの席上で私の同期のガバナーエレクトがロンバートン氏に質問したそうです。その時、同氏は、この「Engage Rotary, Change Lives」と第2標語は同じ意味だと答えたそうです。私の本年ガバナーとしての地区運営の方針等につきましては、三大セミナーで申し上げ、又、活動計画書にも記載してあります。

＜元気なクラブを目指して＞（例会は、楽しく且つ緊張あるものに・・・！）

奉仕と親睦(友愛)は、ロータリーの2本柱であり、車の両輪であることは過去幾多の先輩ロータリアンが繰り返して述べているところです。そして、奉仕と親睦の両輪が競うように力強く回っている状態をロータリーでは「元気なクラブ」と言います。

「親睦」と「親睦活動」を混同する方も多いようですが、両者は違います。親睦とは、申すまでもなく「奉仕の心」を作り出すための例会における諸活動であります。ロータリアン個人の心と心が結合した過程であって、互いに切磋琢磨しながら自らの人格を磨きあう状態を表す概念であります。従って、例会の位置づけが最も大切になります。そのためには、会員卓話にもひと工夫が必要でしょう。マンネリ化した事務的な卓話ではなく、時にはユーモア、ウイット、そしてジョークに富んだ話の中で、奉仕の理念の真髄に迫る研ぎ澄まされた卓話が求められます。

そして、私が各クラブに求める例会の在り方は「例会は楽しく且つ緊張あるものに・・・！」です。

更に今年度は今一歩進め、「会員に奉仕の心を増強させる一つの機会として」ゴルフ・野球・テニス・その他ロータリアンの趣味の世界、即ち、親睦活動を推奨したいと思います。これら趣味の中で、会員同士の深い絆を築いて欲しいと思います。それは結果的に退会防止に繋がるからです。そして、私は、次のように申し上げたい。「ロータリーに潤いを、そして活力を・・・！」と。

＜ロータリーを知らずに退会していく3年未満の新会員の問題＞

2年か3年かはともかく、各地区で新会員がロータリーの何たるかを知ることなく辞めてゆく問題がクローズアップされております。そして、当地区においても然りです。

本日のニコニコボックス	14,000 円	累計	268,000 円
金の箱	632 円	累計	3,191 円

■出席報告 (会員数42名)

出席者数31	欠席者数11	ビジター 4	修正出席率 78. 57%
--------	--------	--------	---------------

千葉市内例会変更のご案内 [メニュー](#) [キャップ](#) [ご利用下さい。](#)

千葉RC	月	—	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	—	センシタタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	9/10	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	9/25	京成ホテルミラマレ
千葉北RC	水	9/25	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	—	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	9/12・9/26	京成ホテルミラマレ

本日の卓話

国際ロータリー第2790地区
ガバナー 関口 徳雄様



皆様、今日は。国際ロータリー第2790地区ガバナーの関口徳雄です。所属は浦安ロータリークラブです。

皆様、既に御案内のとおり、本年度RI会長ロン・D・バートン会長が提唱したテーマは「Engage Rotary, Change Lives」日本訳として「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」というものです。

「Engage Rotary, Change Lives」日本訳として「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」というものです。

それを防止する手段の一つとして、会員研修が必要であると思います。

本年度は、早急にガバナー補佐の協力のもと、地区研修リーダー主催による情報研究会を実施しますが、目的は各クラブのベテランロータリアンの再教育と彼らによる新入会員へのオリエンテーションの実施を目指します。必ず実施して下さい。前述の親睦活動による会員同士の絆に加え、退会防止へと繋げたいと思います。

<職業奉仕と他の奉仕活動の関係>

私の極めて個人的な考えですが、職業奉仕委員会は、奉仕活動というより職業を通じた自己研鑽委員会ともいうべきものではないかと思えます。

純粋にロータリアン個人にとっての職業奉仕をかんがえた場合、これは極めて道徳的哲学的なものであり、自己研鑽に励むことが中心であって、特定のプロジェクトのように外部からハッキリと見えるものではありません。

しかし、この職業奉仕は、「ロータリアンの基本」あるいは「ロータリーの心」と言われているものですから、絶対に失念することはできないのであります。

要するに、職業奉仕については、ロータリアン一人一人が大事にし、これを奉仕活動の要ないし基礎として捉え、常に振り返る必要があるのです。

つまり、職業奉仕は、これを除く四大奉仕の精神的支柱(バックボーン)であって、キリスト教の聖書、仏教の経典の如きものではないかと思えます。(多分、異論があるかと思えますが…。)

<ロータリアン全てが職業奉仕を理解しなければならない理由>

職業奉仕について意味内容定義はともかくとして、「なぜ我々は職業奉仕を理解しなければならないのか？」ですが、ロータリーが他の奉仕団体と異なるのは、この職業奉仕という独特の奉仕活動を持っていることです。この点については、全てのロータリアンが認めることだと思います。そうしますと、当然のことながら、ロータリアン一人一人が「職業奉仕とは何なのか」「職業奉仕が如何なるものか」ということについて十分に理解しておく必要があります、ロータリーの内外からいつでも誰に対しても(自らの見解とし)職業奉仕を説明できなければならないので

す。

ひるがえって、新入会員に対しても、ベテランロータリアンがしっかりとオリエンテーションを実施して、この点を認識させ、職業奉仕を理解させなければならないのです。ついでながら、職業奉仕を更に深く理解するためには、その「対となる」ところの社会奉仕を正しく理解しないと、結局のところ、職業奉仕と社会奉仕の区別がつかなくなってしまうのです。

そこで、職業奉仕と社会奉仕を厳密に分ける必要が生じてくるのです。そして、当然のことながら「I serve」か「We serve」かの区別にも関連します。

<私が考える職業奉仕とは>

極めて抽象的な表現ですが、「自分の仕事の中で、奉仕の理念を追求すること」に尽きると思います。あくまで個人がなすことです。具体的に申しますと、

- ① ロータリアンとしては、先ず第一に自分の仕事を真面目にコツコツと一生懸命行うことです。そのためには、自分の仕事に誇りと責任を持ち、又、常に職業倫理的道徳的水準の向上を図らなければなりません。
- ② 第二に、他の人の仕事の価値観も同時に認めることです。
- ③ 第三に、自分の仕事の腕を社会に役立てることです。そして、その際の手法は、奉仕の理想(理念)を目標に、2つの標語 超我の奉仕 — 弱者を助ける人道的な奉仕活動

He profits most who serves best — 事業の継続的な繁栄を願う職業奉仕理念

を胸に秘め、4つのテストを秤(計り)として、8つの行動規範に基づいて行うことであります。

では、クラブは何をすべきかという、クラブは、この模範となるような実例を示したり、クラブ会員が自己の職業上の腕を発揮できるようなプロジェクトを開発することによって自己の目標を実践できるように推奨することでありませぬ。
(文 関口 徳雄ガバナー)



第2417回例会

日時⇒平成25年8月30日(金)点鐘12:30

卓話⇒『心と体と肌と』

卓話者⇒ポーク化粧品

所長 プレイングマネージャー

宮下 友里子様

第2418回例会

日時⇒平成25年9月6日(金)点鐘12:30

卓話⇒『自己紹介』

卓話者⇒中森 壽一郎会員

